

西岡見聞録

8月の西岡公園見どころは!?

8月の西岡公園は北海道の短い夏を楽しめます。散策路では自然の木々の葉が、日差しや暑さを和らげてくれます。木道は日差しを遮るような場所が少ないので、熱中症予防のため時々休んで水分補給するのがお勧めです。そんな時、水源池を抜ける風が汗ばんだ身体に心地よく感じることでしょう。8月前半には木道の脇にツリフネソウやキツリフネ、ミソソバ、アカバナなど小さな花の植物が咲き始め散策を楽しませてくれます。お盆が過ぎる頃になると短い夏は秋へと向かい始めますが、夏の大型トンボに混ざってアカトンボと呼ばれるアカネ属のトンボが姿を現します。お子様と一緒に、お友達同士で、動植物を観察しながら散策を楽しませてみてはいかがでしょうか？

【西岡公園で8月に見られる野鳥たち】

(日本野鳥の会 2018.8.5 札幌支部 HP より)

- | | | |
|-----------|-----------|---------|
| ・オシドリ | ・ハシストガラス | ・ゴジュウカラ |
| ・マガモ | ・ハシストガラ | ・キバシリ |
| ・カイツブリ | ・ヤマガラ | ・コサメビタキ |
| ・キジバト | ・ヒガラ | ・キビタキ |
| ・ハリオアマツバメ | ・シジュウカラ | ・スズメ |
| ・コゲラ | ・ヒヨドリ | ・カワラヒワ |
| ・アカゲラ | ・ヤスサメ | ・アオジ |
| ・クマゲラ | ・センダイムシクイ | |

【キンミズヒキ】

〔金水引〕 長く伸びた茎の上部に黄色い小さな5弁の花をたくさんつける。

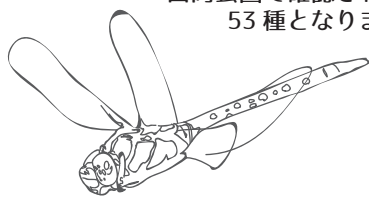
果実は「ひつつき」と呼ばれ内側に曲がった刺毛が衣服などに付着します。



【大型のトンボ】

この時期はオニヤンマ科やヤンマ科の大型トンボが多く見られます。

昨年「クロスジギンヤンマ」と「マダラヤンマ」の2種が増え西岡公園で確認されたトンボは53種となりました。



ハッ橋周辺ではコオニヤンマや夕方に飛び始めるコシボソヤンマが見られます。

オオウバユリに巻き付くツルニンジンが見られます。

木道沿いではミソソバやアキノウナギツカミ、アカバナなどピンク色の小さな花が群生します。

木道の脇にツリフネソウやキツリフネが群生。

8～9月はスズメバチが活発に活動する時期です。

ハチに遭遇しても騒いだり、手で追い払わず静かにその場から離れてください。



【ツリフネソウとキツリフネ】

ツリフネソウ科で唯一黄色い花をつけるキツリフネ「黄釣舟」

赤紫色の花と花の後ろに伸びる距の先端が渦巻き状に巻くツリフネソウ「釣船草」



くるん↑

